

一般国道470号
能越自動車道

七尾氷見道路



国土交通省 北陸地方整備局

金沢 河川国道事務所



国土交通省 北陸地方整備局
富山河川国道事務所

能登半島と全国とのアクセス時間の短縮により、物流の活性化や観光圏域の拡大など、沿線地域に活力をもたらします。



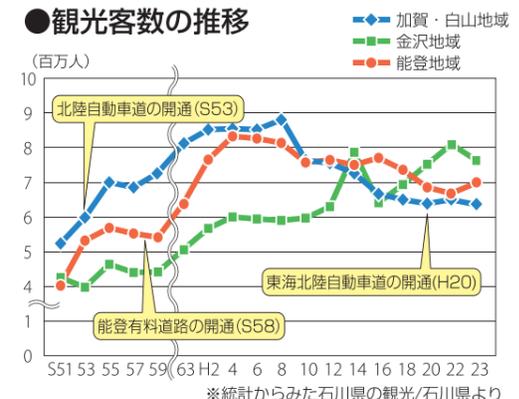
《高規格幹線道路とは》

高規格幹線道路は、自動車の高速交通の確保を図るために必要な道路で、全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路です。昭和62年6月26日道路審議会答申に基づき、同年6月30日建設大臣により、既に決定されている高速道路(国土開発幹線自動車道)の計画(約7,600km)及び本州四国連絡道路(約180km)に、新たに約6,200kmの路線を追加して、14,000kmの高規格幹線道路網が定められました。



観光圏域が拡大、能登の魅力をつっぴり味わえます

能登半島は、祭、自然等の豊かな観光資源を持つエリアです。その能登半島のある石川県に訪れる観光客数の大半は自動車やバスを利用。そのためアクセスの利便性が高まることで、より一層の観光客数の増加が期待できます。能越道をはじめとした高規格道路網が整備されると1泊2日の観光圏域が広がることになり、その圏域人口は約7割もの増加が予想されています。これまでは遠いと感じられていた能登への観光も身近なものとなり、地域の活性化につながっていきます。



高速道路等の開通が観光客数増加のきっかけとなるのがわかる。



環日本海時代を見据えた三大都市圏とのアクセス

能越自動車道は、小矢部砺波ジャンクションで北陸自動車道・東海北陸自動車道と接続しており、能越自動車道が完成すると三大都市圏までの所要時間は飛躍的に短縮されます。三大都市圏との交流は能越地域の産業・経済・文化の発展を促進し、環日本海時代へ向けての強力な推進力となります。

能越自動車道の概要



昭和62年6月、高規格幹線道路網計画が策定されました。これは21世紀への望ましい国土構造形成の方向を踏まえ、道路交通の量的拡大と広域化、また高速性・定時性と言った道路利用者のニーズに応じていくため、規格の高い広域幹線ネットワークの拡充を目的としたものです。

能越自動車道は、このプランの一貫として計画された一般国道の自動車専用道路で、富山県西部と石川県能登半島地域を結びます。高速交通サービスの均てんと、地方中心都市である石川県輪島市、同七尾市、富山県高岡市及び重要港湾である七尾港、伏木富山港（特定重要港湾）等の重要な拠点と国土幹線軸とのアクセスの利便性を向上させるものです。さらに、国土幹線軸を構成する北陸自動車道及び東海北陸自動車道と有機的に結合し、能登地域と東京・大阪・名古屋を中心とする三大都市圏との交流を促進するとともに、地域の結合の強化を図ります。人・物・情報の動きを活発にし、産業の振興及び本地域の豊富な観光資源等のネットワーク化によって、新たな観光需要の創出を支援します。

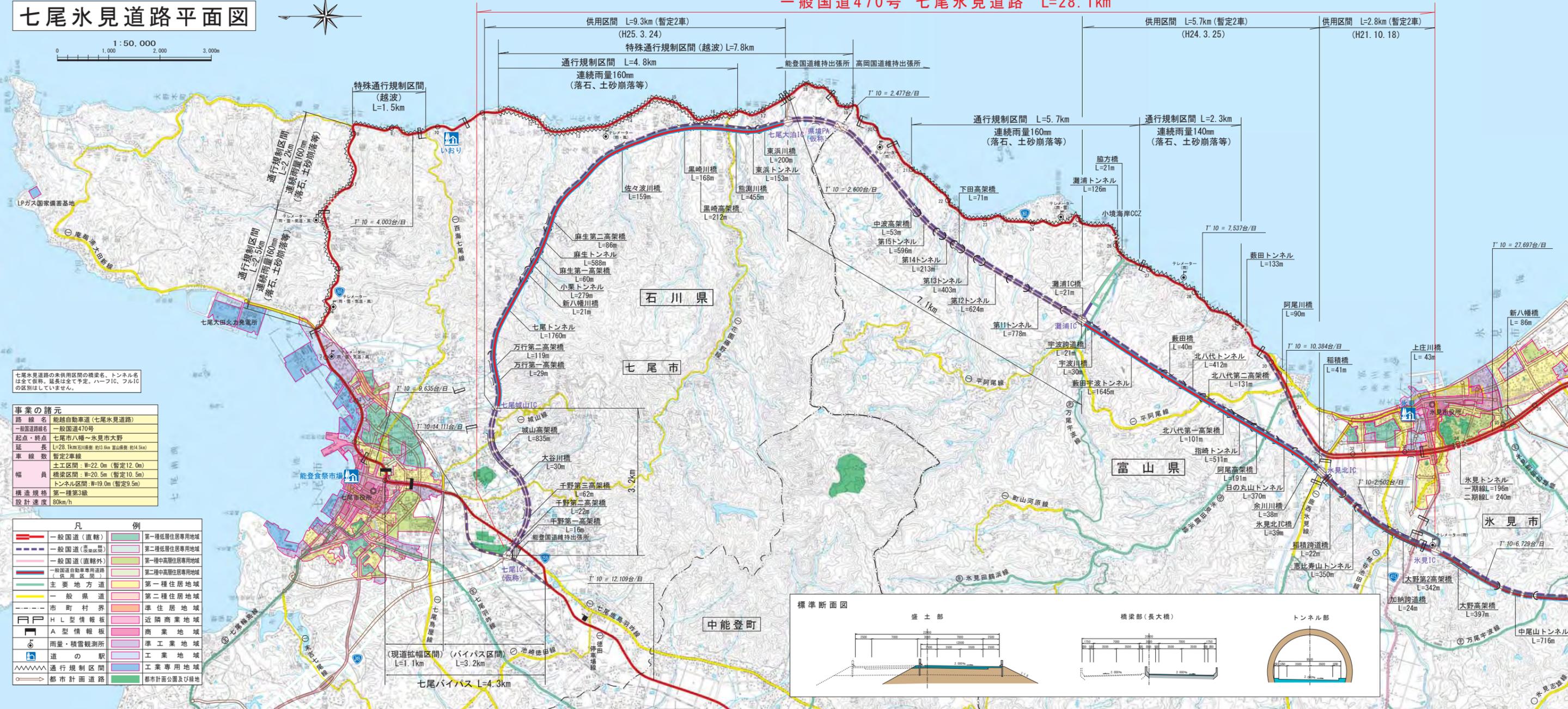
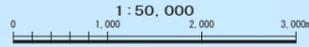
■能越自動車道（一般国道470号）の事業計画概要

(未供用区間のIC名は仮称)

基本計画決定 (年・月・日)	← (H元.8.8) → (H2.11.1) → (H3.12.3) → (H9.2.5) → (H元.8.8) → (H5.7.30) →																								
整備計画決定 (年・月・日)	← (H元.8.8) → (H2.11.1) → (H5.7.30) → (H12.4.3) → (H元.8.8) → (H12.4.3) → (H24.4.17) →																								
都市計画決定 (年・月・日)	← (H元.3.1) → (H5.5.10) → (H10.7.31) → (H12.2.22) → (H23.12.13) → (H元.6.16) → (H11.5.14) →																								
総延長 (約100km)	小矢部東JCT	小矢部東IC	福岡IC	高岡IC	高岡北IC	氷見南IC	氷見IC	氷見北IC	灘浦IC	七尾大泊IC	七尾城山IC	七尾IC	田鶴浜IC	徳田大津IC	横田IC	越の原IC	穴水IC	能登港IC	三井IC	輪島IC					
	2.4	4.5	6.8	4.5	5.3	5.9	2.8	5.7	7.1	9.3	3.2	9.5	5.1	11.1	11.8	4.1	6.2	4.7	6.8						
	富山県 約45km										石川県 約55km														
事業化年度	← (H元) → (S63)(H元) → (H2) → (H4) → (H8) → (H元) → (S47) → (H9) → (H18) → (H24) →																								
有料許可 (年・月・日)	← (H2.12.28) → (H9.12.24) → (H8.10.23) → (S48.3.9) →																								
供用区間 (年・月・日)	← (H8.3.28) → (H12.7.19) → (H16.6.13) → (H19.4.15) → (H21.10.18) → (H24.3.25) → (H25.3.24) → (H10.4.19) → (S55.3.29) → (H18.6.10) →																								
現事業(管理)主体	富山県道路公社										国土交通省					石川県					国土交通省				

七尾氷見道路平面図

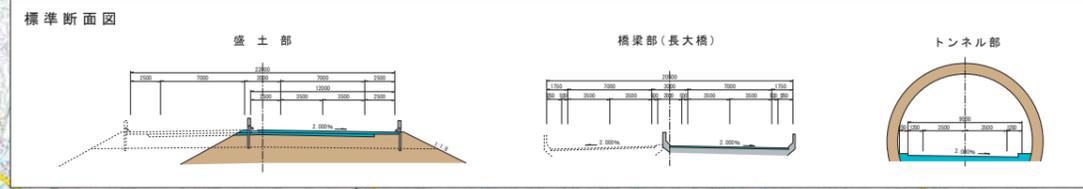
一般国道470号 七尾氷見道路 L=28.1km



七尾氷見道路の供用区間の橋梁名、トンネル名は全て仮称、延長は全て予定、ハーフIC、フルICの区別はしていません。

事業の諸元	
路線名	能登自動車道(七尾氷見道路)
一般道路種別	一般国道470号
起点・終点	七尾市八幡～氷見市大野
延長	L=28.1km(直線距離:約13.6km 登山距離:約14.5km)
車線数	暫定2車線
幅員	土工区間: W=22.0m (暫定12.0m) 橋梁区間: W=20.5m (暫定10.5m) トンネル区間: W=19.0m (暫定9.5m)
構造規格	第一種第3級
設計速度	80km/h

凡	例
	一般国道(直轄)
	一般国道(委託)
	一般国道(直轄外)
	主要地方道
	一般県道
	市町村界
	H L型情報板
	A型情報板
	雨量・積雪観測所
	道の駅
	通行規制区間
	都市計画道路
	第一種低層住居専用地域
	第二種低層住居専用地域
	第一種中高層住居専用地域
	第二種中高層住居専用地域
	第一種住居地域
	第二種住居地域
	準住居地域
	近隣商業地域
	商業地域
	準工業地域
	工業地域
	工業専用地域
	都市計画公園及び緑地



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平25北環、第16号) 第三者が複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

七尾・氷見の道の駅



道の駅 能登食祭市場

道の駅

【七尾市】

一般県道七尾港線

- 駐車台数 大型車 15台 小型車 199台
- 電話 1台
- お手洗い 男性27器 女性20器
- 身障者用設備 駐車場1台 トイレ3器
- 食事 能登グルメ館 能登生鮮市場 能登銘産・工芸館 能登祭歳時館
- 店舗・売店
- 情報コーナー
- 公園 七尾マリンパーク モントレーホール・モントレー広場・研修室



道の駅 氷見

【氷見市】

一般国道415号

- 情報コーナー 道路情報、観光情報、特産品等案内
- 体験施設 多目的広場、足湯
- 温浴施設 氷見温泉郷「総湯」

- 駐車台数 大型車 12台 小型車 302台
- 電話 1台
- お手洗い 男性9器 女性10器
- 身障者用設備 駐車場8台 トイレ1器 ベビーベッド
- 乳幼児用設備
- 食事 氷見漁港場外市場「氷見番屋街」
- 店舗・売店 氷見漁港場外市場「氷見番屋街」



道の駅 いおり

【七尾市】

一般国道160号

- 情報コーナー 道路情報、観光情報、特産品等案内
- 体験施設 多目的広場

- 駐車台数 大型車 5台 小型車 62台
- 電話 1台
- お手洗い 男性8器 女性4器
- 身障者用設備 駐車場2台 トイレ1器 ベビーベッド
- 食事 レストラン「磯の香」 農産物直販所
- 店舗・売店



七尾氷見道路の整備により期待される効果

効果1 災害時の迂回ルートが形成されます!!

一般国道160号で通行規制が発生しても、七尾氷見道路が迂回ルートとして活用され、緊急時における周辺地域の安全性が向上します。



大雨による土砂崩壊(氷見市大境)

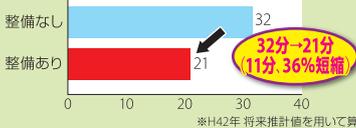


越波で濡れた国道(七尾市佐々波)

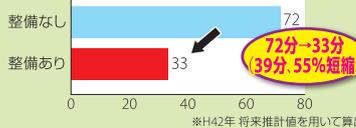
効果2 救急医療施設のカバーエリアが拡大します!!

七尾氷見道路の整備により、大泊地区～公立能登総合病院、脇地区～厚生連高岡病院の搬送時間それぞれ約11分、約39分の短縮が見込まれ、救命救急に寄与することが期待されます。

【大泊地区～公立能登総合病院間の所要時間】



【脇地区～厚生連高岡病院間の所要時間】



効果3 死傷事故が減少し、安全な走行環境が確保されます。

一般国道160号の交通が七尾氷見道路に転換し、一般国道160号の交通量が減少することで、死傷事故件数の削減が期待できます。

効果4 観光地へのアクセス利便性が向上します!!

北陸自動車道、東海北陸自動車道と連携したアクセスルートの形成で、能登地域への利便性が向上し、より一層の観光客数の増加が期待されます。

国土交通省 北陸地方整備局

富山河川国道事務所

〒930-8537 富山市奥田新町2番1号

TEL (076) 443-4701 (代)

ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

金沢河川国道事務所

〒920-8648 金沢市西念4丁目23番5号

TEL (076) 264-8800 (代)

ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>